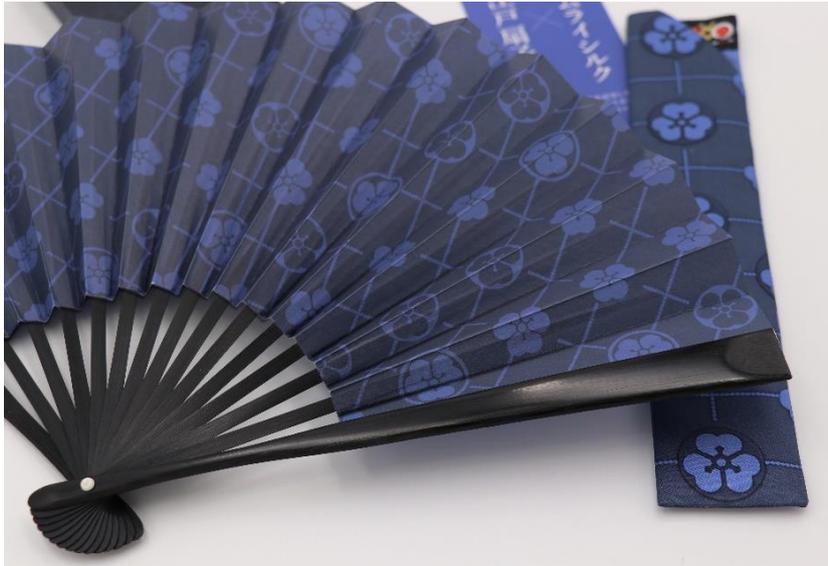


令和 4 年 10 月 20 日

プレスリリース

「酒井家庄内入部 400 年記念事業」協賛事業
鶴岡商工会議所 庄内藩をテーマとした土産品開発事業
《丸にかたばみ紋入り江戸扇子と絹製扇子袋》



鶴岡商工会議所では、旧庄内藩主・酒井家の庄内入部 400 年を記念し、鶴岡シルク株式会社と江戸扇子職人 松井宏氏によるコラボプロダクト《丸にかたばみ紋入り江戸扇子と絹製扇子袋》を企画、開発いたしました。

令和 4 年 10 月 8 日「酒井家庄内入部 400 年記念式典レセプション」において、関係者への贈呈品として採用いただいただけでなく、シルクミライ館にて一般販売も行います。お目出たき本年にふさわしい商品となっております。

鶴岡特産“サムライシルク”と友好都市・江戸川区の伝統工芸「江戸扇子」のコラボプロダクト

扇はその形が末広がりに通じるとして、お目出たい席の引き出物にもされ、お宮参りや七五三、結婚式などの人生の節目にも欠かせない存在です。鶴岡市は、令和 3 年に旧庄内藩と深い繋がりのある松ヶ岡が開墾 150 年、鶴岡市友好都市・江戸川区との盟約が 40 周年、そして、令和 4 年酒井家庄内入部 400 年と大きな節目を迎えました。酒井家と鶴岡・庄内の 400 年の歴史の中で生まれた絆と産業の結びつきから生まれた、粋で城下町らしい和小物です。

古来から多くの日本人が愛した藍色

黒く見えるほど濃い藍色「褐色（かちいろ）」は「勝ち色」に転じ、縁起物として武士に愛好され、江戸時代には粋を好む庶民の間にも広く普及しました。明治時代には“ジャパンプルー”と称され

るほど、藍色は日本を象徴する色の一つとなったのです。今回は「勝ち色」をベース色とし、柄のデザインはテキスタイルデザイナー須藤玲子氏監修による酒井家家紋「丸にかたばみ」を用いたデザイン候補の中から、第19代後嗣酒井忠順氏より選んでいただきました。

扇子が生み出す“サムライシルク”の粋な風を感じていただけたら幸いです。

10月21日（金）より鶴岡アートフォーラムで公開されるテキスタイルインスタレーション《ファンファーレ 扇の舞》でも本商品のデザイン柄が起用されており、本商品も販売しています。

Design Consulting デザイン監修

Hand-crafting 扇子制作



須藤玲子

茨城県石岡市生まれ
株式会社 布 代表
東京造形大学名誉教授

2008年より良品計画、山形県鶴岡織物工業共同組合他のテキスタイルデザインアドバイスを手がける。2016年より株式会社良品計画アドバイザーリーボード。毎日デザイン賞、ロスコア賞、JID部門賞、円空賞等受賞。日本の伝統的な染色技術から現代の先進技術まで駆使し、新しいテキスタイルづくりをおこなう。作品はニューヨーク近代美術館、メトロポリタン美術館、ボストン美術館、ロサンゼルス州立美術館、ビクトリア&アルバート美術館、東京国立近代美術館他に永久保存されている。

協力：一松 岳（株式会社 布）

NUNO
www.nuno.com



松井宏

東京都江戸川区生まれ

江戸扇子職人／扇子工房まつ井 代表

2004年より江戸川区無形文化財（工芸技術・扇子）保持者。2009年に江戸川区文化功績賞受賞。2014年に東京都優秀技能者（東京マイスター）に認定。2015年「グラデーション扇子」が経産省The Wonder 500に認定。江戸時代から続く伝統を守り続けながら、「えどがわ伝統工芸産学公プロジェクト」を通じて美大生とコラボするなど、現代のライフスタイルにあった新しい伝統工芸品も多数手がけている。氏が手がけた江戸扇子は東京2020公式ライセンス商品に採用された。

制作販売 鶴岡シルク株式会社

企画協力 酒井家第19代後嗣 酒井忠順氏

事業協力 鶴岡市「酒井家庄内入部400年記念事業」実行委員会

事業主催／問い合わせ 鶴岡商工会議所総務企画課企画係 後藤 TEL (0235) 24-7711